

# 剣吉商店街

(剣吉商店会)

青森県南部町

## ！取組のポイント

剣吉駅を拠点とした地域振興を目的に、剣吉商店会独自の活性化策を行うだけでなく、外部団体と多様な連携を進めながら商店街を活性化。

## 取組の背景

### 商店会単独ではなく、外部団体と連携

急激な少子高齢化・人口減少による商圈人口の減少、後継者問題、大規模小売店との競合など、商店会は様々な問題に直面している。

こうした中で、商店街の活性化のためには、商店会単独だけではなく、外部団体との連携・交流が重要であると考え、剣吉地区町内会や、剣吉駅前ストリート活性化委員会、地元の県立名久井農業高校、剣吉小学校、南部町商工会などの様々な団体と連携をしながら、地域の商業機能や地域コミュニティ機能の中心となるべく、各種取組を行っている。

## 取組の内容

### 健康づくりの場などの商店街の付加価値を創出

外部団体との連携事業として、①南部町名川夏まつり、②剣吉商店街緑化事業、③元気あおもり健康づくり剣吉商店街プロジェクト事業、④剣吉駅前ストリートマスコットキャラクター「剣ちゃん」グッズの販売を行っている。

①の事業では、剣吉地区町内会と連携し、子どもゆかたコンテストや盆踊り、サマーえんぶり、夏なべの振舞い、世界一小さい打ち上げ花火を行っている。

剣吉商店街まつりの様子



②の事業では、名久井農業高校と連携し、高校で栽培した花のプランターを剣吉駅前通りと商店会加盟店に設置している。

③の事業では、剣吉駅前ストリート活性化委員会と連携し、「商店街での健康づくり」を切り口として、商店会の外部団体との交流・連携の促進と、地域住民の健康増進を図るイベント等として「元気あおもり健康づくり剣吉商店街プロジェクト事業」に取り組んでいる。具体的には、商店街内でのウォーキングイベント「けんよし健康ウォーキング」の開催や、商店街ウォーキングマップの作成、経営者のAED講習会、買物客用の軒先への休憩用椅子設置、商店会加盟店での血圧計・健康レシピの設置、剣吉商店街まつり(2015年6月開催)での健康づくりブースの出展など、街歩きや憩いの場、健康づくりの場としての商店街の付加価値の創出につながるような取組を行っている。

④の事業では、地元小学生から募集したキャラクターをもとに制作した剣吉駅前ストリートマスコットキャラクター「剣ちゃん」グッズの販売を行っており、多様な主体が剣吉商店街の付加価値創出に取り組んでいる。



マスコットキャラクター  
「剣ちゃん」

## 取組の成果

### 地域住民の健康づくりの機運醸成

名久井農業高校の生徒と連携する「剣吉商店街緑化事業」は、商店街の環境整備、商店街の新陳代謝の促進のほか、生徒にとっても郷土とのふれあいの場、社会勉強の場となっている。

また、剣吉駅前ストリート活性化委員会と連携する「元気あおもり健康づくり剣吉商店街プロジェクト事業」では、血圧測定者47名、体脂肪測定者16名、健康ウォーキング30名、減塩ブース40名の参加などがあり、地域住民の健康づくりの機運醸成に一定の成果を生み出している。

今後は、さらなる来街者の増加や各店舗の売上増加を目指し、例えば地域住民を対象にしたアンケート調査を行うなど、消費者のニーズ分析を丁寧に実施し、ニーズに合った事業を行っていく予定である。

## 実施体制

今後も、当商店会が取り組む商店街活性化策には、剣吉地区町内会、名久井農業高校、剣吉駅前ストリート活性化委員会、NPO、南部町などの外部団体と継続的な連携が可能な体制となっている。

特に名久井農業高校や、剣吉駅前ストリート活性化委員会との連携を通じて、商店会での若者の参画・活躍が見込まれており、より多様な主体を巻き込んだ商店街活性化を予定している。

剣吉商店街まつりでの抽選会



## 基本データ

所在地	青森県三戸郡南部町大字剣吉字上平
人口	約2万人(三戸郡南部町)
電話/FAX	0178-75-0631/0178-75-1017
会員数	37名
店舗数	36店舗(買回り品小売店12、最寄品小売店13、飲食店3、サービス店2、その他6)
商店街の類型	近隣型商店街
主な客層	主婦、高齢者、家族連れ

## キーパーソンからのコメント

剣吉商店会  
副会長 出町 州央



## 地域団体との連携と協働

剣吉商店街には、青い森鉄道の剣吉駅を降りてすぐの場所に、約40店舗の商店があります。昔から、商業の盛んな地域でした。しかし、近年では人口の減少と高齢化、後継者問題、大規模小売店との競合などの問題に直面しております。こうした中、剣吉商店会では、単独ではできないことは地域の団体との連携と協働が必要と考え、地元の県立名久井農業高校や、剣吉駅前ストリート活性化委員会、剣吉地区4町内会、南部町商工会、役場などと連携しながらイベントを開催し、商店街、地域の活性化を目的に活動しています。

## 短命県返上を目指す

青森県では、短命県返上というスローガンを掲げています。剣吉商店会では、剣吉駅前ストリート活性化委員会と協働で地域の方々の健康づくりのため、健康ウォーキングや、各商店に設置した血圧計での測定、商店街で購入できる食材での健康料理のレシピの配布を行い、日頃からの健康に対する意識の向上と、買い物するだけの場所ではなく憩いの場としての商店街づくりをしています。

また、名久井農業高校と連携し、高校生が栽培した花のプランターを商店街に設置し生徒や地域住民との交流を深めています。今後も、各団体との継続的な連携をとり、夏祭りや、クリスマスイルミネーションコンテストを行い、地域、商店街の活性化を一步ずつ進めていこうと考えています。

## 商店街概要

剣吉商店街は、青い森鉄道「剣吉駅」を玄関口として物資や文化を取り入れ、旧名川町(2006年1月1日合併で南部町となる)の経済の中核を担い発展してきた商店街である。

団体としての設立は、少子高齢化や、人口減少などの問題から、商業店舗の減少及び商店街の横のつながりの希薄さが目立ってきたことによる。

1998年10月9日に、「剣吉商店会」(任意団体)となり、「健康で元気のある商店街」を目指し、各種販売促進活動や、地域貢献活動を行っている。